

# 三六災害に学ぶ会

～来年は三六災害から50年です～  
開催報告

主催：大鹿村、国土交通省天竜川上流河川事務所

日時：平成22年6月29日（火）14:00～15:30

場所：大鹿村 大西公園

昭和36年6月の梅雨前線による災害、いわゆる三六災害では、伊那谷に未曾有の大災害をもたらし、特に、大鹿村では村内各所で土砂崩れ、土石流等が発生し、55名の尊い命が失われました。

中でも6月29日に発生した大西山の大崩壊では、全壊家屋が39戸、死者・行方不明が42名の大惨事に見舞われました。

あの惨事から年月が流れ、来年で50年の節目の年を迎えようとしています。その節目から1年前となる6月29日に、今一度三六災害を振り返り、地域の皆様とともに、今後の防災対策について考える契機とするため、「三六災害に学ぶ会」を開催しました。

当日は、一般参加者、大鹿村関係者、国土交通省関係者の皆様が参加し、約80名の方に出席いただきました。

天竜川上流河川事務所では、三六災害50年に向けた取り組みを、今後も関係機関や地域のみなさまと連携を図りながら進めてきたいと考えています。



## 1. 当日の流れ

14:00 あいさつ

(大鹿村 柳島村長)  
(天竜川上流河川事務所 草野所長)

14:10 災害概要説明

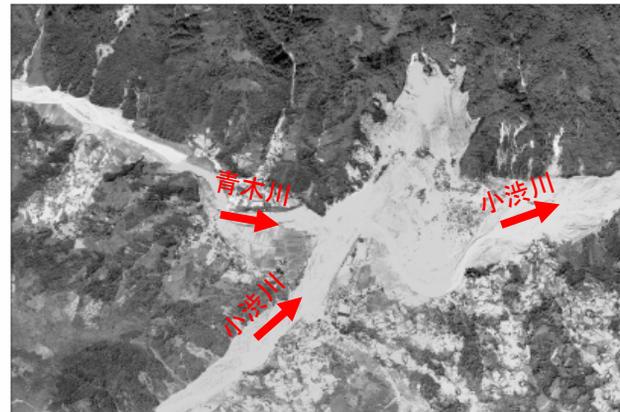
(大鹿村 長尾建設産業課長)

14:20 殉難の碑前で献花・焼香

14:40 大西公園から

- ・大崩落で被害を受けた範囲の確認  
(天上 竹内小渋川砂防出張所長)
- ・整備された砂防設備の説明  
(天上 鈴木砂防調査課長)
- ・災害の追想①:災害体験者のお話  
(今井 積さん)
- ・災害の追想②:災害体験者のお話  
(筒井 清一さん)

15:30 終了



三六災害被災時の大鹿村大河原地区



最近の状況(完成間近の大河原床固工群)

## 2. 当日の様子

あいさつ～献花・焼香



あいさつ(大鹿村 柳島村長)



参加者の様子



あいさつ(天上 草野所長)



災害概要説明

(大鹿村産業建設課長)



参加者の様子



献花・焼香の様子

## 大西山大崩壊の被害範囲確認～災害の追想



大西山大崩壊の範囲を確認する参加者



整備された砂防施設の説明

(天上 鈴木砂防調査課長)

買い物から帰宅の途中、大西山の崩壊と家の被災を目撃した。腰まで泥につかりながら田んぼの中を逃げ助かった。



災害の追想①(今井 積さん)

一度目の崩れから大西山を注視した。泥水で倒壊した家屋、家の下敷きになって亡くなった方も見た。心の傷は癒えていない。



災害の追想②(筒井 清一さん)